

くしろ地域の観光スポット

霧の街・釧路市は道東の拠点都市として、広大で豊かな太平洋と、内陸の自然を背景に発展してきました。

景勝地としては、わが国で28番目に指定された『釧路湿原国立公園』（昭和55年日本で最初のラムサール条約指定湿地に登録）をはじめ、釧路川の河口に架かる『幣舞橋』、年間を通して自然の丹頂鶴を観察することのできる『丹頂鶴自然公園』などがあります。

また、釧路は歌人『石川啄木』ゆかりの地であり、多くの歌碑が建立されております。豊かな自然環境を生かしたカヌーやホーストレッキング等のアウトドアも楽しむことができ、たいへん人気があります。こうした自然と都市とが共生した魅力たっぷりの釧路を存分に楽しんでください。

▶ 幣舞橋 釧路市

幣舞橋の変遷

釧路市の幣舞橋は1889年(明治22年)当時、全道一長い木橋として架けられたのが初まりで、当時は有料で『愛北橋』と呼ばれていました。1900年(明治33年)に国の手によって初代の幣舞橋が誕生し、あの石川啄木も釧路駅からこの橋を渡って下宿へ入りました。現在の橋は初代幣舞橋から数えて5代目として1976年(昭和51年)に建設されました。橋のランカンには春・夏・秋・冬を表現する「四季の像」を配し、エキゾチックな香りを漂わせています。晩秋の広い太平洋を背景に空全体を紅に染める夕陽、夏の薄らと白い霧中に浮かぶ橋影と街路灯はまさに日本ではここでしか見られない幻想的な風景です。

5代目幣舞橋 概要

昭和51年11月完成 長さ:124m 幅:33.8m 工費:約23億4千万円



四季の像 北海道三大名橋の一つ

幣舞橋と言えば、札幌・豊平橋、旭川・旭橋と共に北海道の三大名橋と呼ばれています。橋のランカンには春・夏・秋・冬を表現する「四季の像」を配し、エキゾチックな香りを漂わせています。晩秋の広い太平洋を背景に空全体を紅に染める夕陽、夏の薄らと白い霧中に浮かぶ橋影と街路灯はまさに日本ではここでしか見られない幻想的な風景です。

四季の像 概要

- 舟越保武 氏作「春の像」
- 佐藤忠良 氏作「夏の像」
- 柳原義達 氏作「秋の像」
- 本郷新 氏作「冬の像」



舟越保武 氏作
「春の像」

佐藤忠良 氏作
「夏の像」

柳原義達 氏作
「秋の像」

本郷新 氏作
「冬の像」

▶ 釧路市動物園 釧路市

北海道ならではの野生動物たちにも確実に出会える

動物園で学べる 北海道の野生動物の貴重な生態

北海道には希少な野生動物が多く生息していますが、なかなか都合よく出会えるものではありません。しかし、確実に観察できるのが動物園のいいところです。釧路市動物園では、天然記念物のシマフクロウをはじめ、タンチョウ、エゾヒグマ、オオワシ、オジロワシから、エゾリスやエゾモモンガ、エゾクロテンなど、道東に生息する動物たちを集めた「北海道ゾーン」が設けられています。



動物園を通して 人間と動物の共生について 見つめ直す

釧路湿原に代表される海岸沿いの湿地、周辺の森林が入り組んだ道東の多様な自然環境は、野生動物たちにとって大切な生息地です。私たち人間と動物がどのように共生していくべきか、そしてこの貴重な自然環境をどのように保全していくべきか、楽しく学びながら動物たちと向き合える施設が、釧路市動物園最大の特長です。また、野生動物保護事業にも積極的に取り組み、繁殖技術は年々向上しつつあります。



所在地：釧路市阿寒町下仁々志別11
営業時間：◎4月中旬～10月上旬 9:30～16:30(入園は16:00まで)
◎10月中旬～4月上旬 10:00～15:30(入園は15:00まで)
お問い合わせ：釧路市動物園 TEL 0154-56-2121
アクセス：◎たんちよう釧路空港から車で約10分 ◎JR釧路駅から車で約30分
備考：◎休園日：12～2月の毎週水曜(祝祭日除く)、年末年始
◎入園料：大人570円、中学生以下無料

▶ 厚岸味覚ターミナル・コンキリエ 厚岸町

『コンキリエ』とは、イタリア語で貝の形をした食べ物の意味。

【食べる・買う・憩う・知る・集う・考える】の6つの扉をテーマとし、牡蠣をイメージしたその外観はまさにピッタリです。北の海のまち『厚岸』でなければ食べられない牡蠣を中心に、食文化を創る新しい施設です。



外観

牡蠣をイメージした外観で、3、4階は展望室になっています。



総合展示販売

厚岸の特産品やコンキリエのオリジナルグッズを販売しています。



喫茶コーナー

季節にあったメニューがあります。ひと時の休憩にご利用ください。



水族館プティ

周辺に生息する貝類、海水魚、淡水魚が観察できます。



観光案内

厚岸での見所をご案内します。何でも聞いてください。



レストラン エスカル

牡蠣を中心とした四季折々、旬のメニューが揃っています。



魚介市場

獲れたて、できたての新鮮な海山の味が四季を通じて堪能できます。



炭火焼 炙屋

魚介市場で買ったカキやサンマを自分で焼いて食べられます。



【住所】厚岸郡厚岸町住の江2丁目2
 【TEL】0153-52-4139
 【営業時間】9:00～21:00(4月～10月)、10:00～19:00(11月～12月)、10:00～17:00(1月～3月)【定休日】月曜日(祝祭日の場合は火曜日)
 【座席】56席(レストラン・エスカル)、100席(炭焼き・炙屋)
 【アクセス】車:JR釧路駅より国道44号線を車で約50分
 【駐車場】100台



▶ 砂湯 弟子屈町

砂浜を掘ればたちまち 露天風呂の出来上り。

砂湯は、文字の通り屈斜路湖畔の砂浜を掘るとたちまちに温泉が出て露天風呂になります。キャンプ場もあり、湖で水浴びした後は砂を掘って温泉浴が楽しめる。

冬は渡り鳥の「オオハクチョウ」が羽根を休める姿を見に訪れる人々が多いところです。

常に湯煙を浜全体から立ち上げていて、のんびりした気持ちになります。砂湯は観光バスが立ち寄る屈斜路湖畔でも中心的役割を担っている景勝地です。



- 泉質：単純泉 ● 効能：リュウマチ・火傷など
- 脱衣所：なし
- 入浴方法：砂を掘って浴槽を作ってください



砂湯キャンプ場

住所：弟子屈町屈斜路湖畔砂湯
 問合せ：015-484-2254(期間中のみ)
 015-483-2567(自然公園財団川湯支部)
 期間：6月下旬～9月上旬
 設備：炊事場2ヶ所・トイレ4ヶ所・貸しテント有り
 利用料金：高校生以上 1泊400円 / 小中学生 1泊300円
 設備：管理事務所、炊事場、水道、トイレ、自販機、照明、公衆電話
 販売：薪・木炭
 オートキャンプ：不可
 駐車場：大型15台、普通車140台 無料
<http://sunayu.teshikaga.asia/>

▶ 川湯エコミュージアムセンター 弟子屈町

色とりどりの四季の自然を伝える 「もりのパレット」

訪れた皆さんと川湯の大自然や歴史、文化とを結ぶお手伝いをする施設です。国立公園になっている川湯の美しい自然を分かりやすく解説した展示物や、見どころ情報などを紹介しています。小さいお子様から大人まで楽しめる展示物になっているので、ご家族でも楽しめますよ!館内は広々としたオープンスペースとなっていて、暖炉のあるラウンジや、アカエゾマツの森を眺めながら読書したりできるくつろぎスペースがあるので、散策の後の休憩にもぴったりの場所です。

自然とふれあいながら一日ゆっくりくつろいでみませんか。散策の前にはまずエコミュージアムセンターへお立ち寄り下さい。



住所：弟子屈町川湯温泉2-2-6
 TEL：015-483-4100
 開館時間：【4月～10月】 8:00～17:00
 【11月～3月】 9:00～16:00
 休館日：毎週水曜日休館(水曜日祝日の場合翌日)
 7月の第3週～8月31日は無休
 年末年始(12月29日～1月3日)
 入館料：無料
<http://www.kawayu-eco-museum.com/>

▶ 硫黄山 弟子屈町

地球の心音が吹き上げる硫黄山

弟子屈町で摩周湖の次ぐ観光名所といえば、硫黄の独特な匂いと高山植物が低地に生えている変わった景色を楽しめる硫黄山でしょう。川湯温泉から約3キロに位置する硫黄山は、アイヌ語でアトサ(裸)ヌプリ(山)と呼ばれ、現在でも硫黄の噴煙がゴウゴウと音を立ててあちこちから立ち上っており、その姿はまさに地球の鼓動を感じるという表現がふさわしい印象を受けます。

また、硫黄山は現在、落石の危険性があることから登山者の安全を考慮して立ち入り禁止となっていますが、山の中腹には「熊落とし」と呼ばれている深さ約50メートルにもなる火口跡があり、アイヌ人がこの崖に熊を追い落としたことからこの名前がついたと言われています。

つつじヶ原はエゾソツジの夢の小路

砂湯は、文字の通り屈斜路湖畔の砂浜を掘るとたちまちに温泉が出て露天風呂になります。キャンプ場もあり、湖で水浴びした後は砂を掘って温泉浴が楽しめる。

冬は渡り鳥の「オオハクチョウ」が羽根を休める姿を見に訪れる人々が多いところですよ。

常に湯煙を浜全体から立ち上げていて、のんびりした気持ちになります。砂湯は観光バスが立ち寄る屈斜路湖畔でも中心的役割を担っている景勝地です。



硫黄山は硫黄採掘量 全道一になったことも

硫黄山で、かつて大規模な硫黄の採掘が行われていたことを知っていますか。アイヌの人たちが焚き付けとして使用していたものを、明治5年頃に釧路の漁場持、佐野孫右衛門が採掘に乗りだしたことが発端とされています。

当初馬や釧路川を利用して釧路まで硫黄を運搬していましたが、明治19年には約1万400トン採掘し、全道一の硫黄産山になるほどの埋蔵量を誇っていました。明治20年には硫黄山から標茶町までの38kmの間に北海道で2番目に早く鉄道を引き、近代的な精練所を整えるなど、大量に輸送することができるようになりました。大量採掘、大量輸送によって硫黄資源はたちまち枯渇してしまい、明治29年に採掘を休止、華々しく登場した鉄道も幻のように消えてしまいました。

現在、当時をしのぶものは硫黄山レストハウス裏の青葉トンネル(鉄道敷跡)と呼ばれる遊歩道くらいしかなくなりましたが、弟子屈町の発展に大きな功績を残した山でもあります。

所在地: 弟子屈町硫黄山 TEL: 015-483-2670(川湯観光案内所)

交通アクセス: 川湯温泉駅からバスで5分

駐車料金: バイク200円 | 乗用車500円 | マイクロバス1,000円 | 大型バス2,000円

※摩周湖第一展望台との共通券(第3展望台は無料)

※上記料金で硫黄山駐車場、摩周湖第一展望台を1回ずつご利用いただけます(2日間有効、消費税込)。

※長さ5m以上の乗用車はマイクロバス料金の扱いになります。

※冬期間中(11月下旬~翌年4月上旬)は休業します。※休業中も駐車可能ですが、無料開放につき、事故・トラブル等に関する責任は一切負いかねます。

▶ 大鵬相撲記念館 弟子屈町

不滅の名横綱“大鵬”の栄光と軌跡がここにある



弟子屈町川湯温泉は不滅の名横綱とたたえられる第48代横綱大鵬が、少年時代を過ごし、大きな夢を育てた郷里です。

優勝32回、そのうち全勝優勝8回、六場所連続優勝は2回あり、連勝記録は双葉山の69に次ぐ45という、相撲史上に数々の金字塔を打ち立てた大鵬の偉業を後世に伝える館内には、全ての優勝額や化粧回し、少年時代からの写真の他、歴代横綱の写真などがびっしり。特に名勝負・名場面の映画は迫力たっぷりで見どころありです。

「巨人・大鵬・卵焼き」が流行語にもなった懐かしく熱い時代へ、あなたもタイムトリップしてみませんか

住所：弟子屈町川湯温泉2丁目1番20号

TEL：015-483-2924

開館時間：【6月1日～10月20日】 5:30～21:00

【10月21日～5月30日】 9:00～17:00

入館料：大人(高校生以上)420円 団体280円

小人(小中学生)200円 団体140円

※団体は20名以上

出典元／てしかがえこまち推進協議会・弟子屈町

▶ 多和平展望台 標茶町

360度のパノラマ風景が
楽しめます。

地平線を360度見渡せる北海道らしい雄大な眺めの展望台。1279ヘクタールの傾斜放牧地と404ヘクタールの採草地をもつ、日本一の広さの町営牧場(標茶町育成牧場)のなかにあり、牛が数千頭、サフォーク種の羊が数百頭放牧されている。展望台からは遠く知床、阿寒などの山々も一望でき、雄大で牧歌的な風景を体感できる。

所在地：川上郡標茶町標茶798-1

観光のお問い合わせ：標茶町観光協会 TEL 015-485-2264



出典元／標茶町観光協会

▶ 音別町体験学習センター「こころみ」 釧路市音別町



宿泊型体験学習施設ですが、日帰りの個人・団体利用も歓迎!体験メニューは20以上と幅広く、特産物フキの皮を使った「ふき紙漉き体験」や「ピザ」「パン」づくり、「天体観測」、職員が随行する「溪流釣り」など、地域色の強い体験に感動します。当日OKのクラフト体験もありますが、大半は1週間前までに要予約。

住所: 釧路市音別町音別原野基線138-46
TEL: 01547-6-9000 営業時間: 8:50~17:20(天体観測は21:30まで)
定休日: 月曜、12月31日・1月1日~5日
アクセス: ●JR釧路駅より車で約83分 ●釧路空港より車で約64分

料金(夏)(※料金は目安です)

- ふき紙漉き(2時間30分) 670円 ●ソーセイジづくり(2時間) 770円
- ピザづくり(2時間) 770円 ●手づくりキャンドル(2時間) 570円
- 天体観測(1時間) 460円 ※日帰り体験の料金

※表示しているアウトドアガイド料金は保険料込みで、大人2名で申し込んだ際の大人1名料金です。
子ども料金や、大人1名で申し込む場合、多人数割引で料金が変わる場合がありますので、
各事業所にお問い合わせください※悪天候により催行中止や、メニュー変更の場合もあります。



出典元/釧路・阿寒湖観光公式サイト

▶ 阿寒湖畔エコミュージアムセンター 釧路市阿寒町

阿寒湖畔エコミュージアムセンターは、阿寒国立公園阿寒地域の自然環境や特別天然記念物「阿寒湖のマリモ」を展示している施設です。阿寒地域とそこに訪れた皆様を結びつけるガイド役ですので、是非阿寒湖にお越しの際はお立ち寄りください。

ユニバーサルデザイン対応状況

- 車いすの貸し出し ●多言語対応パンフレットの配布
- コミュニケーション支援ボード

住所: 釧路市阿寒町阿寒湖温泉1丁目1番1号
TEL: 0154-67-4100
開館時間: 9:00~17:00
夏期期間(8/1~8/20)は9:00~18:00
(毎週火曜日休館・火曜祝日の場合翌日休館)



出典元/阿寒国立公園 阿寒湖畔エコミュージアムセンター

くしろ地域の食～ご当地グルメ

▶ 釧路町のご当地グルメ

海産物

昆布・鮭・仙鳳趾産 牡蠣・花咲ガニ・さおまえ昆布

仙鳳趾(せんぼうし)は、釧路町昆布森というところになり地名の通りに、昆布漁や牡蠣の養殖が盛んなところです。夏は昆布を広場いっばいに延ばして干している光景を目にできます。牡蠣は潮の流れが少しきつく、身の締まりプリプリとし、殻に対して身が大粒で、強い甘味と濃厚でクリーミーな味わいが特徴です。



出典元/JF昆布森漁業協同組合

食肉・農作物

海藻ポーク・ほくげん大根・生姜(霧美人))

海藻成分を配合した飼料を食べさせて北海道釧路町達古武の広大な大地でのびのびと育てた、ホクレン認定の栄養価の高い優良豚『海藻ポーク』や「釧路ほくげん大根」は、北海道釧路町の夏場でも最高気温の平均が24℃程度と涼しい冷涼な気候と、水はけの良い「火山灰土質」を活かし育てられています。表面が白くなめらかで美しい見た目と、噛んだ時の果物のようなみずみずしさ、甘さも感じられる味わいが特徴です。

加工品

昆活シリーズ

北海道・釧路町昆布森地区でとれた昆布を活用した昆活シリーズ。伝統製法の天日干しにより昆布本来の旨味(アミノ酸)を多く含んだ昆布森産昆布を使用し、釧路町の代表食材を加えた自慢の調味料です。



出典元/TONxTON(とんとん)マーケット

▶ 厚岸町のご当地グルメ

海産物

カキえもん(牡蠣)・さんま・アサリ・コンブ

自然豊かな厚岸の海ですくすくと育ったかきをはじめ、あさり・ほたて・うに・ほっきは、「えもんシリーズ」として厚岸産だけに与えられる信頼のブランドです。

特に牡蠣の「カキえもん」は、国内で唯一年中出荷しています。厚岸の牡蠣は、海水温が低いことが幸いし、ゆっくりじっくり育ちます。長い時間をかけて豊富な栄養を取り続けることで身はふっくら、コクがあり甘みが濃厚なのが特徴です。



出典元／厚岸漁業協同組合

農作物

あっけし極みるく・椎茸

JA釧路太田が製造・販売する牛乳。搾りたての生乳そのままの味に近づけるため、製法にこだわった。一般的な牛乳は120度前後の高温で数秒間熱処理するが、65度の低温で30分かけてゆっくり殺菌した。

また、原木での栽培にこだわって、おいしい「しいたけ」も生産しています。



出典元／北海道釧路太田農業協同組合

▶ 浜中町のご当地グルメ

食事・スイーツ

さんま丼・ソフトクリーム・ホッキカレー

海と森にかこまれた浜中のおいしい食材を使ったものを町内の飲食店でいただけます。



出典元／浜中町観光協会

▶ 標茶町のご当地グルメ

加工品・スイーツ

のぎきのジンギスカン・竹田屋の頑固豆腐
飲むヨーグルト「プリティア」・しべちゃ牛乳
長坂牧場のチーズ・ポロニ養鶏場「有精卵」
星空のカレーシリーズ・栗田商店のしめ鯖
行者にんにく焼酎「ぷくさ」
ミルキークラウンソフトクリーム

酪農が盛んで自然豊かな標茶まちでは、各店それぞれ個性豊かな商品をつくっております。標茶町や近郊のみでしか販売していない商品もありますが、WEB販売している商品もあります。



出典元／標茶町観光協会

▶ 鶴居村のご当地グルメ

食肉・加工品

ナチュラルチーズ「鶴居」・ブランド豚三恵豚
やまべの天ぷら

ナチュラルチーズ「鶴居」は、豊かな大地で育った牧草を食べ、たっぷりの愛情を注がれて育てられた牛たちから搾られた、新鮮で良質の生乳を原料としています。

「三恵豚」とは、鶴居村の3つの恵み(土・水・風)を受け、サツマイモを食べて育ったブランド豚。旨みの強い、美味しいお肉です。

釣り公園で釣ったやまべをその場で調理し天ぷらで食べることもできます。



出典元／酪楽館・有限会社オオツなど

▶ 弟子屈町のご当地グルメ

農産物・食肉

摩周ポーク・摩周和牛・摩周メロン 極寒完熟マンゴー「摩周湖の夕日」

メロンは、日中の温度と夜間の温度の差が大きければ大きいほど、美味しく・甘くなります。メロン栽培の北限の地で育った摩周メロンは、この条件にぴったりの豊かな味わいが自慢です。

弟子屈町には摩周温泉、川湯温泉をはじめ、たくさんの温泉があり、この豊富な温泉水を利用して、1日のうちにビニールハウス温度を上げ下げし、とても甘い「摩周湖の夕日」が作り出されます。

『摩周ポーク』は弟子屈町で飼育された良質な豚肉です。
豚肉特有の臭みもなく、脂身も美味しくいただけます。



出典元／摩周湖農業協同組合・弟子屈町役場

加工品・食品

摩周ラムネ・摩周ハイボール・摩周そば アイスクリーム・摩周の豚丼 摩周ポークカツバーガー そば焼酎・芋焼酎・牛のおっぱいミルク

弟子屈町内の酒屋さんが、ご当地ドリンクで弟子屈を盛り上げようと作った、「摩周ハイボール」や網で余分な脂を落としながら香ばしく焼いた「摩周の豚丼」など弟子屈町でしか味わえない食が満載です。



出典元／弟子屈ナビ

▶ 白糠町のご当地グルメ

海産物

ししゃも・ヤナギダコ・灯台つぶ

築地市場での評価も高い、言わずと知れた白糠の名物魚「ヤナギダコ」や刺身にした時のこりこりとした歯ごたえと、口の中に甘さが広がる「灯台つぶ」や北海道南部の太平洋沿岸、水深約120m以下の浅い水域にしか生息していない希少な魚の「ししゃも」など白糠漁港ではたくさんの種類が水揚げされています。



出典元／白糠漁業協同組合

食肉・加工品・食品

ラム肉・鹿肉

イタリアンチーズ

丁寧な飼育から生まれるラム肉は高級品としてニーズが高く、希少なものとして珍重されています。

白糠にはたくさんの野生のエゾ鹿が生息し、プロの手でしっかりと血抜きをした臭みのないエゾ鹿肉を食べる事が出来ます。

また、白糠酪恵舎のチーズはイタリア人がふるさとの味と認めるイタリアンチーズを生産しています。



出典元／白糠町役場

▶ 釧路市音別町のご当地グルメ

農産物・料理

キクイモ・シイカツバーガー

ワークセンター音別では、収穫した肉厚の椎茸を使い「シイカツバーガー」を作り人気商品となっています。



出典元／北海道社会福祉協議会

▶ 釧路市阿寒町のご当地グルメ

鮮魚・農産物など

阿寒湖原産姫鱒・ウチダザリガニ まりもキャベツ

マリモが生息する神秘の湖として全国にその名を知られる阿寒湖は、雄阿寒岳の噴火によりできた淡水湖で、ヒメマス、ニジマス、アメマス、イトウ、コイ、ワカサギ、ザリガニなど、豊富な魚たちが生息する湖です。

また、まりもキャベツは1998年に地場野菜の魅力をPRしようと、キャベツの緑と丸いイメージから「まりも」と名付けられ、釧路市民に親しまれている。



出典元／阿寒湖漁業協同組合

食肉

阿寒ポーク・阿寒モルト牛・阿寒もみじ・阿寒丹頂黒和牛

大自然に見守られながら、阿寒湖で湧く美味しい水と安全で良質な飼料、成長に合わせたきめ細やかな飼育によりのびのびと育てられたブランド牛肉や豚肉に力をいれております。

出典元／阿寒農業協同組合

食品・料理・加工品

マリモヒート・まりもシリーズ(羊羹・豆腐・プリン)

阿寒いなか物語手づくりドレッシング

公魚料理・アイヌ料理

阿寒町のおみやげの定番「まりも羊羹」や阿寒特産品開発プロジェクトが作った手作りドレッシングなど様々な商品を開発しています。また、阿寒湖温泉街では伝統的なアイヌ料理や公魚料理が食べられる飲食店もあります。